



(公社)神奈川労務安全衛生協会
小田原支部
小田原市本町2-3-24
TEL 0465-24-1753
発行責任者 支部長 川村豊彦
編集 広報部会



明月院

日本新薬(株)小田原総合製剤工場 黒川 卓也 氏 撮影

第96回 全国安全週間スローガン

『 高める意識と安全行動

築こうみんなのゼロ災職場 』

令和 5 年度

全国安全週間を迎えて

小田原労働基準監督署 署長 木村隆志



小田原労働基準監督署管内における休業 4 日以上の死傷災害は依然として増加傾向にあります。死亡災害については、令和 4 年はゼロを達成できましたが、残念ながら令和 5 年に 1 件発生してしまい、予断を許さない状況にあります。

本年度は第 14 次労働災害防止計画の初年度であります。本計画の目標を達成するため、皆様方のご協力をいただきながら、小田原労働基準監督署職員一丸となって労働災害防止に取り組んで参ります。

さて、本年も、

「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」をスローガンとして、7 月 1 日から 7 日まで第 96 回全国安全週間が実施されます。高齢労働者の労働災害防止対策と併せて、転倒や腰痛といった、労働者の作業行動に起因する労働災害を防止し、労働者一人一人が働きやすい安全で安心な職場環境を築くため、この全国安全週間を契機に、労使協力して一層の取組みをお願いします。これらの取組みを通じて、小田原地区の安全衛生水準の更なる向上が図られますことを祈念いたします。

～第96回全国安全週間～

小田原地区推進大会に参加して

第 96 回全国安全週間小田原地区推進大会が 6 月 7 日に開催され、100 名を超える多くの方が参加されました。



小田原産業労働団体連合会会長の川村様からは、労働災害を減らし安全に働くことを着実に推進し、労使一丸となって取組みとするお言葉がありました。また、小田原労働基準監督署長木村様、安全衛生課長 原様からは、死亡災害が未だ発生している状況や、高齢者による転倒・腰痛対策の重要性、第 14 次労働災害防止計画での 8 つの重点対策とするアウトプット指標とアウトカム指標取組み推進などの説明があり、労働災害の現状と今後の目指す姿について再認識する事ができました。

小田原地区安全功労者表彰において 7 名が受賞されました。受賞者の皆様におかれましては改めてお祝い申し上げます。

続いて、特別報告として第 14 次労働災害防止計画の重点課題である「転倒災害防止」について、神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 安全部会 相崎様より、災害に至る危険源の調査・分析に基づいた「安全靴」の対策についての報

告があり、具体的で説得力のある内容と感じました。

大会宣言では、「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」をスローガンに、労災防止の重要性を認識し、広く安全意識を高め安全活動の着実な実行を図ることが宣言され、職場が一丸となり、安全活動を着実に実行してこうと改めて決心しました。

大会特別講演は、中央労働災害防止協会 健康快適推進部 研修支援課 課長補佐 山口様より、『ストレスを軽くする「ものの見方・考え方」』



の講演を行って頂きました。ストレスに対する見方や考え方を如何に客観的で柔軟なものに修正し、気持ちを楽にする方法についての内容であり、大変参考になりました。

今回の大会に参加して、労働災害防止活動推進の重要性を再認識すると共に、今年度から始まった第 14 次労働災害防止計画の重点施策取組みを実践することで、ゼロ災職場を目指していきたいと思えます。

(株式会社 明治ゴム化成 磯崎昭男)

小田原労働基準監督署からのお知らせ

STOP！ 熱中症 クールワークキャンペーン

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約600人が4日以上仕事を休んでいます。

このように、熱中症の発生が後を絶たないことから、厚生労働省では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP！ 熱中症 クールワークキャンペーン」(キャンペーン期間：5月1日～9月30日、うち重点取組期間：7月1日～7月31日)を展開しています。各事業場の皆様におかれましても、職場での熱中症予防のため、以下に示す期間ごとの実施事項について、重点的な取組をお願いします。

◎キャンペーン期間(5月1日～9月30日)

○STEP1

- 暑さ指数の把握と評価

○STEP2(測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底)

- 暑さ指数の低減(設備対策等を実施)
- 休憩場所の整備(休憩場所等を設置)
- 服装(通気性の良い衣類等への変更)
- 暑熱順化への対応(7日以上かけて熱へのばく露時間を次第に延長)

※新規入職者や休み明け労働者に注意

- 水分・塩分の摂取(水分と塩分を定期的に摂取)
- プレクーリング(作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減)
- 健康診断結果に基づく対応(糖尿病・高血圧症・心疾患・腎不全・精神や神経関係の疾患・感冒・下痢の疾病を持った方には医師等

の意見を踏まえ配慮)

- 日常の健康管理(朝食摂取や睡眠確保等)
- 作業中の作業者の健康状態の確認(巡視を頻繁に行い、声掛けを実施)
- 異常時の措置(異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する等を措置)
※全身を濡らして送風すること等により体温低減
※一人きりにしない

◎重点取組期間(7月1日～7月31日)

- 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- 水分・塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- 体調不良の者に異常を認めるときは、躊躇することなく救急隊を要請

※令和5年「STOP！ 熱中症 クールワークキャンペーン」実施要綱は、厚生労働省の熱中症予防情報特設ページ(<https://neccyusho.mhlw.go.jp>)で確認できます。

労働災害発生状況

令和4年における労働災害発生状況が確定しました。この確定とは、令和4年1月1日から令和4年12月31日までに発生した休業4日以上労働災害に関して、提出された労働者死傷病報告(様式第23号)の受理件数について、統計を作成するに当たっての締切日を設け、統計数値の確定を行ったものです。

小田原労働基準監督署管内における令和4年の労働災害による死亡者はゼロを達成しましたが、死傷者数は661人と前年(442人)に対して219人(50%)の増加となりました。コロナによる労働災害を除いても、72人(2%)の増加となっています。

なお令和5年については、5月末日現在、労働災害による死亡者が1名発生し、死傷者数は140人と前年同期(177人)に対して37人(21%)の減少となっています。

今年度は第14次労働災害防止計画の初年度です。労使協力のもと、当該計画推進に向けた取り組みをお願いいたします。

令和4年 業種別労働災害発生状況

小田原 労働基準監督署 (確定版)

業種	当 年 (令和4年)	前 年 (令和3年)	増減数	増減率
01 食料品製造	16	44	-28	-63.6%
02 繊維工業				-
03 衣服その他の繊維				-
04 木材・木製品	3		3	-
05 家具・装備品	1	2	-1	-50.0%
06 パルプ等	3	3		0.0%
07 印刷・製本		4	-4	-100.0%
08 化学工業	13	4	9	225.0%
09 窯業土石	6	1 (1)	5	500.0%
10 鉄鋼業				-
11 非鉄金属	1	1		0.0%
12 金属製品	4	4		0.0%
13 一般機械器具				-
14 電気機械器具				-
15 輸送機械製造	2	1	1	100.0%
16 電気・ガス		1	-1	-100.0%
17 その他の製造	7	5	2	40.0%
01 製造業小計	56	70 (1)	-14	-20.0%
02 鉱業小計	3	1	2	200.0%
01 土木工事	19	19 (2)	-2	0.0%
01 鉄骨・鉄筋家屋	6	4	2	50.0%
02 木造家屋建築	12	4 (1)	8	200.0%
03 建築設備工事	3	8 (1)	-5	-62.5%
09 その他の建築工事	8	9	-1	-11.1%
02 建築工事	29	25 (2)	4	16.0%
03 その他の建設	2	6	-4	-66.7%
03 建設業小計	50	50 (4)	-4	0.0%
01 鉄道等	3	4	-1	-25.0%
02 道路旅客	6	8	-2	-25.0%
03 道路貨物運送	31	23	8	34.8%
04 その他の運輸交通				-
04 運輸交通業小計	40	35	5	14.3%
01 陸上貨物	38	41	-3	-7.3%
02 港湾運送業				-
05 貨物取扱小計	38	41	-3	-7.3%
01 農業	4	11	-7	-63.6%
02 林業	3	6	-3	-50.0%
06 農林業小計	7	17	-10	-58.8%
01 畜産業	1		1	-
02 水産業		1	-1	-100.0%
07 畜産・水産業小計	1	1		0.0%
01 卸売業	4	7	-3	-42.9%
02 小売業	56	37	19	51.4%
03 理美容業	1	1		0.0%
04 その他の商業	3	4	-1	-25.0%
08 商業	64	49	15	30.6%
01 金融業				-
02 広告・あつせん				-
09 金融広告業				-
10 映画・演劇業				-
11 通信業	9	7	2	28.6%
12 教育研究	1	1		0.0%
01 医療保健業	174	17	157	923.5%
02 社会福祉施設	127	68	59	86.8%
03 その他の保健衛生		1	-1	-100.0%
13 保健衛生業	301	86	215	250.0%
01 旅館業	26	25	1	4.0%
02 飲食店	10	11	-1	-9.1%
03 その他の接客	14	10	4	40.0%
14 接客娯楽	50	46	4	8.7%
15 清掃・と畜	23	25	-2	-8.0%
16 官公署	2	1	1	100.0%
01 派遣業				-
02 その他の事業	16	12	4	33.3%
17 その他の事業	16	12	4	33.3%
合 計	661	442 (5)	219	49.5%

※ 各欄左側の数字は労働者死傷病報告(休業4日以上)の受理件数、右側()内は死亡災害件数(内数)

新たに着任した職員からの挨拶

監督課長 西元寺 剛史

この4月より監督課長を拝命いたしました西元寺(さいげんじ)と申します。神奈川県は横浜、川崎での勤務はございますが、小田原には初めて着任いたしました。

着任後初めて小田原駅を降り、往来する人の多さと多様さに圧倒されました。通勤してきた方、観光客、外国の方、学生など様々な人が行き交う小田原駅の活気ある様子を見て、新型コロナウイルス感染症の影響により、大変ご苦労されたであろう小田原地区の皆様が力強く立ち上がられていることを実感いたしました。

是非、私も皆様と緊密にコミュニケーションをとらせていただき、微力ながら小田原地区の皆様のお役に立つことができると考えております。

どうぞよろしくお願いたします。

令和5年度

小田原地区安全功労者表彰



飛騨 昭雄様
株式会社西山製作所



向田 直司様
文化堂印刷株式会社

■表彰者の選考について

この表彰は、毎年、全国安全週間小田原地区推進大会において、小田原産業労働団体連合会の表彰規定に基づき、3年以上無災害の事業場の中より、同一事業場に5年以上勤務し、かつ安全に対し功績のあった方に贈られるものです。

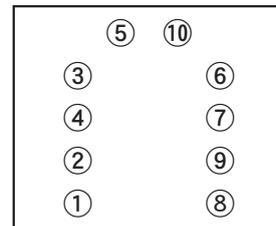
安全部会活動と役員紹介

安全部会では労働災害防止に向けた各種施策を提案し、災害件数を減少させる事を目標に活動を行っています。役員事業場へのアンケートで浮き彫りになったのは、全国同様小田原地区でも転倒災害が非常に多くその傾向は高齢者に偏っていることでした。これは「他人事ではない」と実感し、安全部会の重点課題を「転倒災害防止」に絞り込みました。

追加アンケートを実施し、具体的な発生事象を分析し共通原因から効果的な対策について議論を進めました。その結果を令和5年度全国安全週間小田原地区推進大会で報告することが出来ました。今後もこれらの現状把握に基づく活動を継続し、より身近な情報から効果的な対策案を提案し、災害防止に役立つ部会活動を目指していきます。

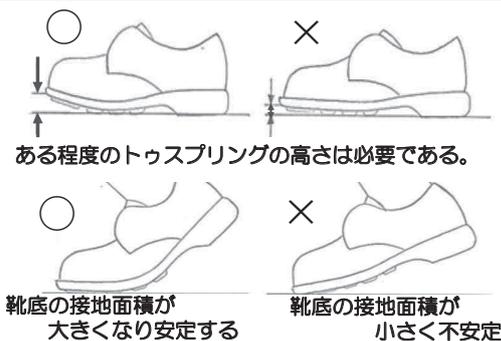
<役員担当事業場紹介>

- | | |
|------------------------------------------|--------------|
| ① 富士フイルム株式会社神奈川事業場 | 寺内 実 (部会長) |
| ② 三菱ガス化学株式会社山北工場 | 須田 和哉 (副部会長) |
| ③ 富士フイルムヘルスケアマニュファクチャリング株式会社
南足柄竹松事業場 | 平田 純一 |
| ④ 株式会社明治ゴム化成 | 磯崎 昭男 |
| ⑤ 南開工業株式会社 | 陌間 元晴 |
| ⑥ 花王株式会社小田原事業場 | 加藤 夕貴 |
| ⑦ 豊玉香料株式会社 | 渡辺 均 |
| ⑧ 株式会社クボタケミックス小田原工場 | 柳瀬 光男 |
| ⑨ 日本製紙クレシア株式会社開成工場 | 相崎 俊彦 |
| ⑩ わかもと製薬株式会社相模大井工場 | 金子 勝彦 |



支部に参集し検討する安全部会

つまづきにくい靴の選定 (個人の安全力強化)



安全週間大会で発表する安全部会 相崎さん

【事務局だより】

事務局長 鎌田 光郎

第 14 次労働災害防止計画がスタートしました。中でも化学物質管理を中心に、「法令順守型から自律的管理へ」をキーワードに、安全衛生の取組みの転換が進もうとしています。支部講習内容もこれらの取組みを理解・促進できるようにプログラムの見直しや新規講習を開催していきます。

< 7 月度～9 月度 講習会 >

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| * 職長能力向上教育 | |
| ・ 7 月 3 日 (月) | 青色会館 |
| * 新 K Y T 基礎実践研修会 | |
| ・ 7 月 6 日 (木) | 青色会館 |
| * リスクアセスメント研修会 | |
| ～自律的な化学物質管理導入に向け～ | |
| ・ 7 月 11 日 (火) | 青色会館 |
| * 粉じん特別教育 | |
| ・ 7 月 27 日 (木) | 青色会館 |
| * 安全衛生推進者養成講習会 | |
| ・ 8 月 3 日 (木)、4 日 (金) | 青色会館 |
| * フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 | |
| ・ 8 月 9 日 (水) | 青色会館 |
| * 危険体感講習会 | |
| ・ 8 月 23 日 (水) | 富士フィルム研修センター (南足柄市狩野) |
| * 化学物質管理者 選任のための研修 | |
| ・ 8 月 25 日 (金) | 青色会館 |
| * 職長教育 | |
| ・ 8 月 29 日 (火)、30 日 (水) | 青色会館 |
| * 全国労働衛生週間 小田原地区推進大会 | |
| ・ 9 月 5 日 (火) | 青色会館 |
| * 普通救命講習 I | |
| ・ 9 月 7 日 (木) | 青色会館 |
| * 交通 K Y T 研修会 (半日コース) | |
| ・ 9 月 8 日 (金) | 青色会館 |
| * 職長能力向上教育 | |
| ・ 9 月 13 日 (水) | 青色会館 |
| * 研削といし (自由研削用) 特別教育 | |
| ・ 9 月 15 日 (金) | 青色会館 |
| * 保護具着用管理責任者講習会 | |
| ・ 9 月 19 日 (火) | 青色会館 |
| * 令和 5 年度 届け出手続き講習会 (リアル&オンデマンドセミナー) | |
| ・ 9 月 25 日 (月) | 青色会館 |
| ・ 10 月 10 日 (火) | オンデマンドセミナー配信 |

散 歩 道

妻の実家裏手の敷地 (乗用車 3、4 台分) が荒れがちだった。以前から貸している隣家の駐車に迷惑を掛けないように草刈りを妻と二人で始めた。雨天以外の不定期で義弟夫婦と日程を合わせる場合もある。運動を殆どしない私には良い運動の機会。刈払機を振り回す、手鎌で草を刈る、熊手で集める、袋に入れる、立ったりしゃがんだりして結構ハードな全身運動。頑張りすぎないように心掛けている。

ケガと熱中症と腰痛の予防に職業柄なのか気を付

けている。保護メガネは飛散する砂粒や草片から目を守る。長靴は切り株等を踏み抜かない様に底の丈夫なもの。下半身には速乾タイツを穿く。吸汗効果の他にアウターとの滑りが良くてしゃがみやすい。工具ベルトをするので腰痛予防になる。3 時間くらい作業をして、45ℓ ゴミ袋が約 10 個分になる。適度な疲労感と達成感を得て、帰りのコンビニでご褒美ドリンクに手を伸ばすのだった。



(広報部会 川 裕司)

従業員数 50 人未満の事業者と労働者の皆さまへ

地域の産業医による健康相談・保健指導は無料健康相談窓口をご利用ください。

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働の面接指導、メンタルヘルス不調者の相談や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理を支援するために、「県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

1. 無料健康相談窓口ご利用時間 (原則、1 週間前までにご連絡下さい。)

午後 1 時 0 0 分～ 予約制
2. 相談日 (令和 5 年 8 月から令和 5 年 12 月までの相談日は次のとおりです。)

8 月 2 日(水)・9 日(水)・25 日(金)、9 月 7 日(木)・14 日(木)・19 日(火)・29 日(金)、10 月 2 日(月)・5 日(木)・17 日(火)、11 月 1 日(水)・9 日(木)・17 日(金)・24 日(金)、12 月 4 日(月)・8 日(金)・14 日(木)・20 日(水)
3. 相談窓口会場

〔おだわら総合医療福祉会館内 小田原市久野 115 - 2 県西地域産業保健センター 4F 事務所〕
無料健康相談窓口の他、ご依頼内容により産業医による産業保健指導を小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡の各事業場への個別訪問を行っていますので、ご相談ください。
4. 利用申し込み (ホームページ又は電話)
 - 1) ホームページから利用申込出来ます。 <https://www.kanagawas.johas.go.jp/publics/index/545/> WEB、あるいは FAX で利用申込書をお送りください。
ホームページは “ 神奈川産保県西 ” で検索。
 - 2) 電話 0 4 6 5 - 6 6 - 6 0 4 0 (受付時間: 9 時～ 14 時)

厚生労働省「産業保健活動総合支援事業」 協力: 小田原医師会・足柄上医師会

県西地域産業保健センター